

# 2020年3月期 第2四半期 (2019年度 中間期) 決算ハイライト



**りそなホールディングス**

2019年11月8日

# 2020年3月期 中間期決算の概要

## ■ 親会社株主に帰属する中間純利益：769億円

前年下期から利益水準回復、中間期目標\*1達成(101.2%)

- 前同比△451億円(△36.9%)  
前期計上の一時利益\*2除き前同比△52億円(△6.3%)
- 通期目標\*1比進捗率48.1%

## ■ 実質業務純益：1,235億円 前同比△40億円(△3.1%)

### ● 業務粗利益：3,315億円 前同比△53億円(△1.5%)

預貸金利回り差は低下幅縮小、貸出金ボリュームは増加継続  
債券関係損益は回復

- 国内預貸金利益：前同比△54億円  
貸出金平残：+1.72%、預貸金利回り差：△0.04%
- フィー収益：前同比△19億円、フィー収益比率：29.5%
- 債券関係損益(先物込)：前同比+26億円

### ● 経費：△2,082億円 前同比+29億円(改善)

## ■ 与信費用：△103億円 前同比△154億円

前期戻り益反動減および予防的引当等により費用増

## ■ 通期業績目標(1,600億円)・配当予想(年間21円)変更なし

- 中間配当(10.5円)予定通り、自社株買い(総額100億円)完了

## ■ KMFG統合プロセスは順調に進捗

- 2019年10月15日、関西みらい銀行の事務・システム統合を予定通り実施

HD連結(億円)	2020/3期 中間期 (a)	前同比		通期目標比 進捗率 (d)
		(b)	増減率 (c)	
<b>親会社株主に帰属する 中間純利益</b> (1)	<b>769</b>	<b>△451</b>	<b>△36.9%</b>	<b>48.1%</b>
1株当たり中間純利益(EPS、円) (2)	33.42	△19.33	△36.6%	
1株当たり純資産(BPS、円) (3)	921.63	△7.74	△0.8%	
業務粗利益 (4)	3,315	△53	△1.5%	
資金利益 (5)	2,163	△57		
うち国内預貸金利益*3 (6)	1,724	△54		
フィー収益 (7)	980	△19		
フィー収益比率 (8)	29.5%	△0.1%		
信託報酬 (9)	93	△3		
役員取引等利益 (10)	887	△16		
その他業務粗利益 (11)	171	+23		
うち債券関係損益(先物込) (12)	61	+26		
経費(除く銀行臨時処理分) (13)	△2,082	+29	+1.4%	
経費率 (14)	62.8%	+0.1%		
<b>実質業務純益</b> (15)	<b>1,235</b>	<b>△40</b>	<b>△3.1%</b>	
株式等関係損益(先物込) (16)	32	+5		
与信費用 (17)	△103	△154		
その他の臨時・特別損益 (18)	△41	△294		
<b>税金等調整前 中間純利益</b> (19)	<b>1,122</b>	<b>△484</b>	<b>△30.1%</b>	
法人税等合計 (20)	△306	+35		
非支配株主に帰属する 中間純利益 (21)	△46	△2		

\*1. 2020/3期 通期業績目標1,600億円、中間期業績目標760億円 \*2. KMFG統合関連一時利益(負ののれん等)398億円

\*3. 国内預貸金利益：銀行合算、銀行勘定(譲渡性預金を含む) \*4. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

# 2020年3月期中間期 損益内訳

(億円)	HD連結		銀行合算		りそな銀行 (e)	埼玉りそな銀行 (f)	KMFG銀行合算 (g)	連単差 (a)-(c)
	(a)	前同比 (b)	(c)	前同比 (d)				
<b>業務粗利益</b> (1)	<b>3,315</b>	<b>△53</b>	<b>3,043</b>	<b>△55</b>	<b>1,771</b>	<b>603</b>	<b>668</b>	<b>271</b>
資金利益 (2)	2,163	△57	2,133	△66	1,164	425	544	29
うち国内預貸金利益 (3)			1,724	△54	873	361	489	
うち投資信託解約損益 (4)	5	△32	5	△31	△6	△3	14	0
フィー収益 (5)	980	△19	745	△19	520	135	88	235
フィー収益比率 (6)	29.5%	△0.1%	24.4%	△0.2%	29.4%	22.4%	13.2%	
信託報酬 (7)	93	△3	93	△3	93			△0
役務取引等利益 (8)	887	△16	652	△16	427	135	88	235
その他業務粗利益 (9)	171	+23	164	+31	86	42	35	6
うち債券関係損益(先物込) (10)	61	+26	62	+33	5	30	26	△1
経費(除く銀行臨時処理分) (11)	△2,082	+29	*1 △1,967	+29	△1,044	△369	*1 △552	△114
経費率 (12)	62.8%	+0.1%	64.6%	+0.2%	58.9%	61.3%	82.6%	
持分法による投資損益 (13)	2	*2 △16						2
<b>実質業務純益</b> (14)	<b>1,235</b>	<b>△40</b>	<b>1,075</b>	<b>△25</b>	<b>726</b>	<b>233</b>	<b>115</b>	<b>159</b>
コア業務純益(除く投資信託解約損益)*3 (15)			<b>961</b>	<b>△95</b>	<b>694</b>	<b>192</b>	<b>74</b>	
株式等関係損益(先物込) (16)	32	+5	77	+27	9	20	46	△44
与信費用 (17)	△103	△154	△87	△140	△72	△21	6	△16
その他の臨時・特別損益 (18)	△41	*4 △294	*5 △42	+97	15	△11	*5 △46	0
<b>税引前(税金等調整前)中間純利益</b> (19)	<b>1,122</b>	<b>△484</b>	<b>1,022</b>	<b>△40</b>	<b>678</b>	<b>220</b>	<b>123</b>	<b>99</b>
法人税等合計 (20)	△306	+35	△288	+16	△189	△64	△33	
非支配株主に帰属する中間純利益 (21)	△46	△2						
<b>(親会社株主に帰属する)中間純利益</b> (22)	<b>769</b>	<b>△451</b>	<b>734</b>	<b>△23</b>	<b>489</b>	<b>155</b>	<b>90</b>	

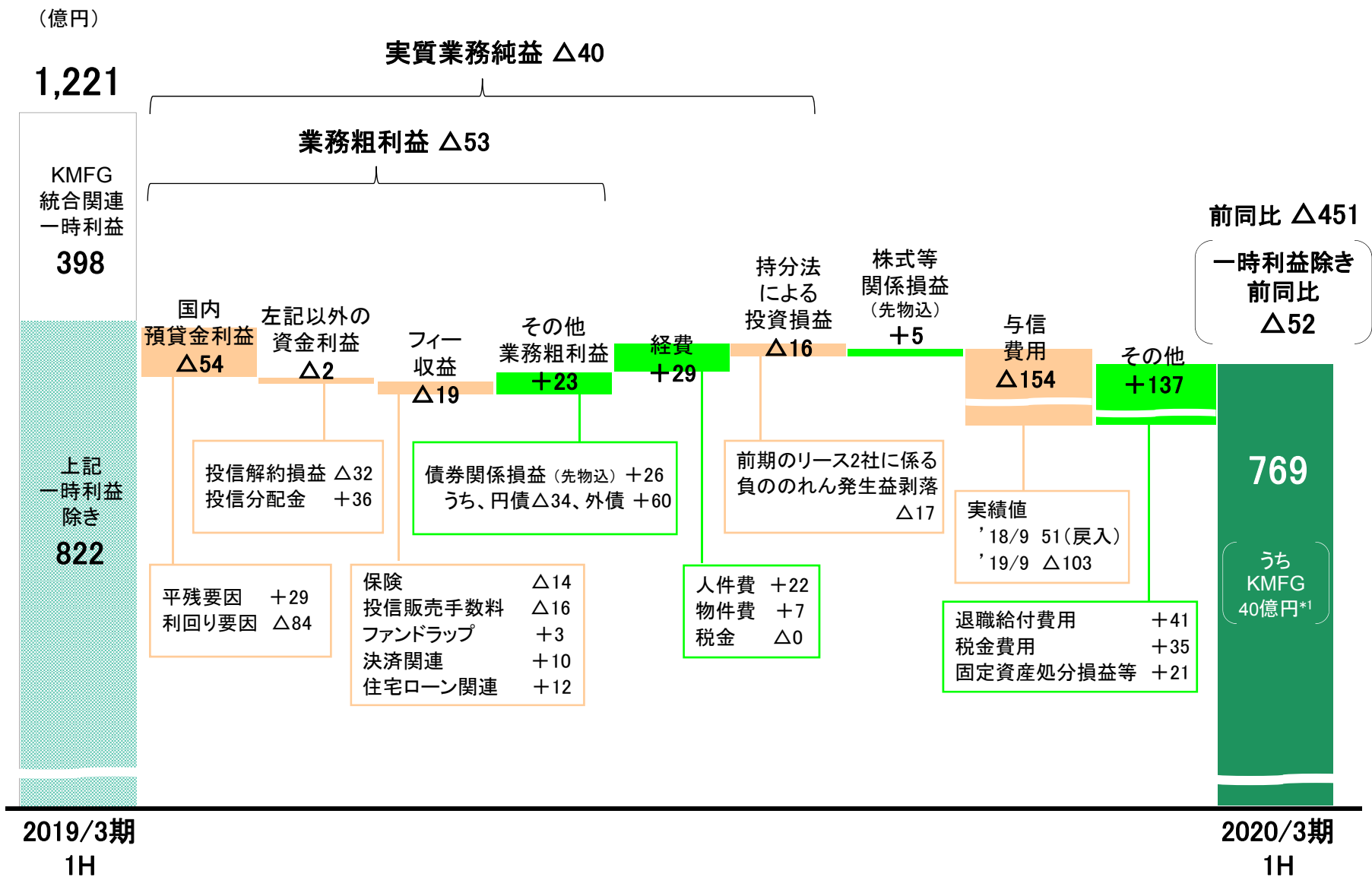
\*1. KMBの旧びわこ銀行のれん償却額(△3億円)を除く \*2.前期計上のリース会社2社の持分法適用会社化に伴う負のれん発生益剥落要因(△17億円)を含む

\*3. 実質業務純益-投資信託解約損益-債券関係損益(現物) \*4.前期計上のKMFG統合関連一時利益の剥落要因(△398億円)を含む

\*5. KMFG統合関連費用(△37億円)を含む

# 親会社株主に帰属する中間純利益の前同比増減要因

HD連結



\*1. KMFG連結中間純利益(78) × 51.2%

# 貸出金・預金の平残・利回り(国内)

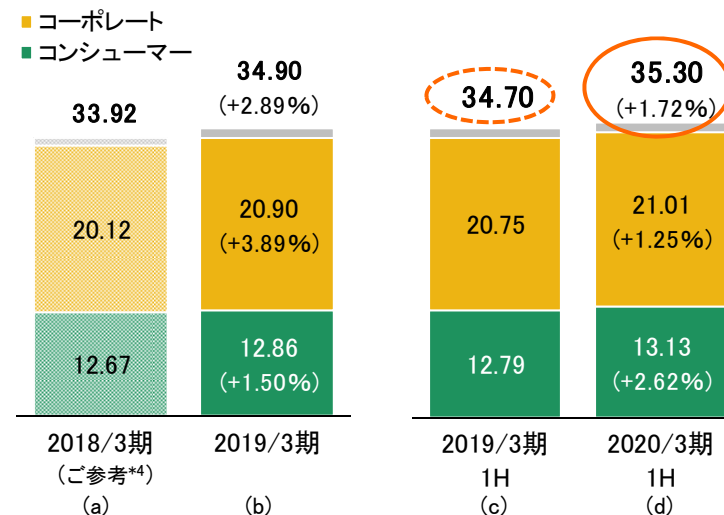
銀行合算

## 貸出金・預金の平残、利回り、利回り差

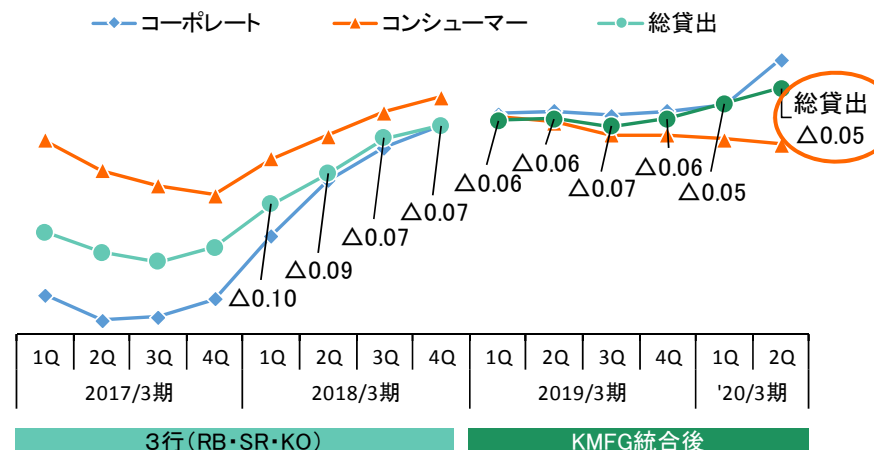
平残: 兆円 収益・費用: 億円		中間期		2020/3期	
		実績 (a)	前同比*3 (b)	修正 計画 (c)	前期比*3 (d)
貸出金	平残 (1)	35.30	+1.72%	35.40	+1.41%
	利回り (2)	0.99%	△0.05%	0.98%	△0.04%
	収益 (3)	1,761	△59	3,490	△122
コーポレート 部門(公共除) *1	平残 (4)	21.01	+1.25%	21.05	+0.70%
	利回り (5)	0.84%	△0.04%	0.84%	△0.03%
コンシューマー 部門*2	平残 (6)	13.13	+2.62%	13.19	+2.55%
	利回り (7)	1.26%	△0.07%	1.25%	△0.07%
預金+NCD	平残 (8)	51.92	+2.51%	51.84	+2.02%
	利回り (9)	0.01%	△0.00%	0.01%	△0.00%
	費用 (10)	△37	+4	△71	+5
預貸金	利回り差 (11)	0.98%	△0.04%	0.97%	△0.04%
	利益 (12)	1,724	△54	3,419	△117

## 貸出金平残、利回り推移

【貸出金平残(兆円)】( )内は前同比増減率



【貸出金利回り 前同比(%)】



\*1. 社内管理計数、コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン  
 \*2. 社内管理計数、コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン  
 \*3. 平残は増減率 \*4. KMFG統合後計数に補正

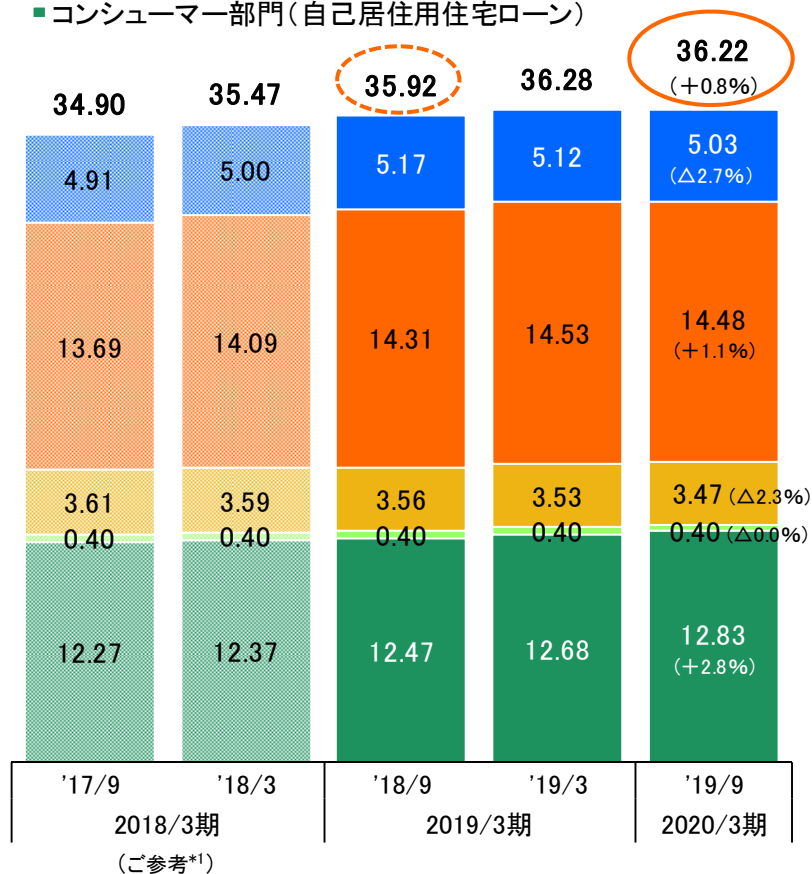
# 貸出金・預金末残

銀行合算

## 貸出金末残

兆円、( )内は  
前同比増減率

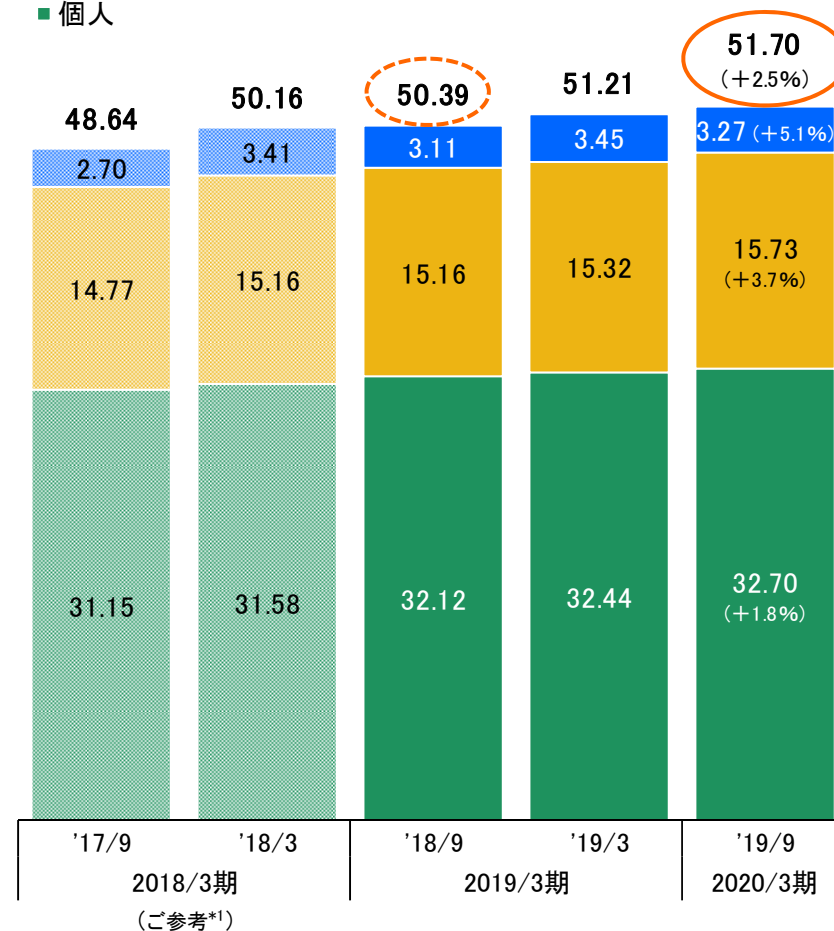
- コーポレート部門(大企業・その他)
- コーポレート部門(中小企業)
- コーポレート部門(アパートマンションローン)
- コンシューマー部門(消費性ローン)
- コンシューマー部門(自己居住用住宅ローン)



## 預金末残

兆円、( )内は  
前同比増減率

- その他
- 法人
- 個人



\*1. KMFG統合後計数に補正

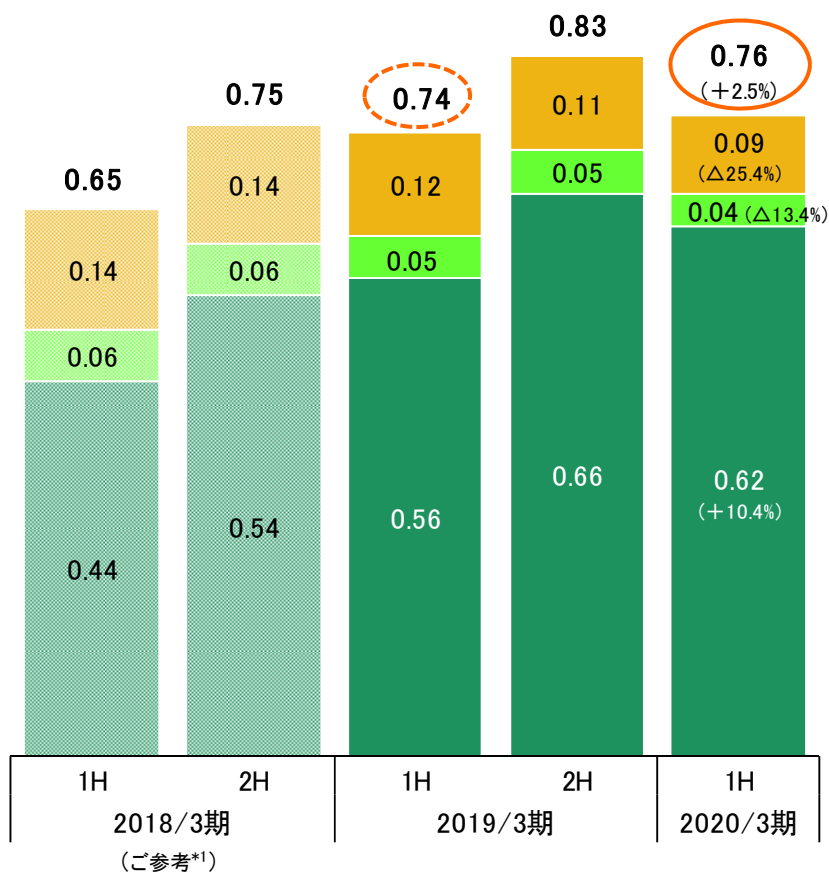
# 住宅ローンビジネス

銀行合算

## 住宅ローン実行額

兆円、()内は  
前同比増減率

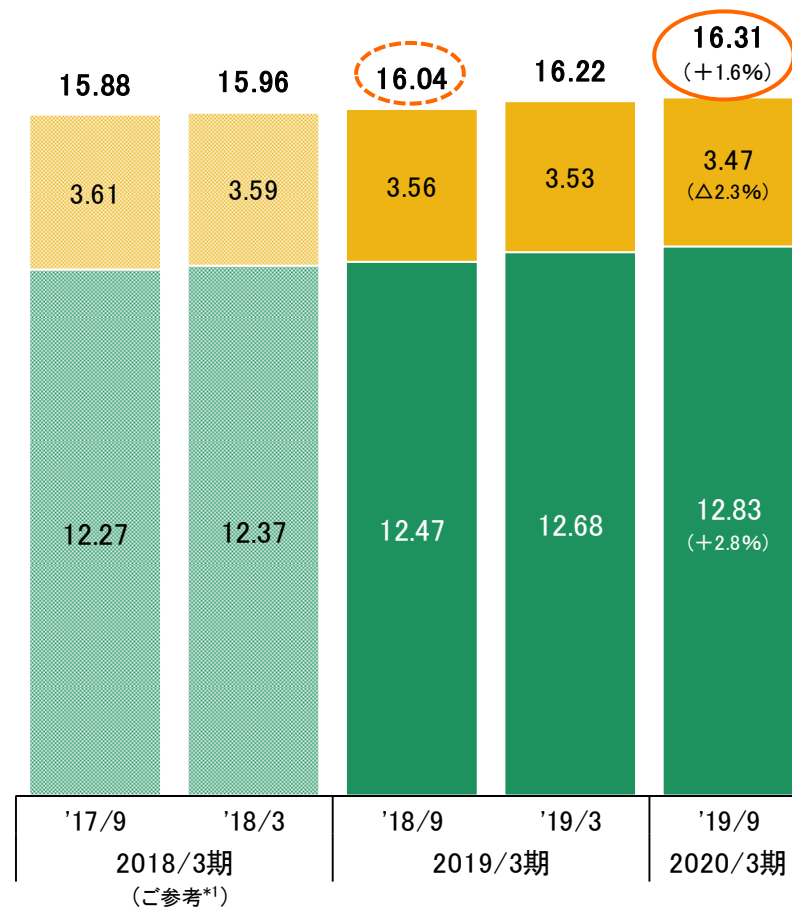
- アパートマンションローン
- フラット35
- 自己居住用住宅ローン



## 住宅ローン未残

兆円、()内は  
前同比増減率

- アパートマンションローン
- 自己居住用住宅ローン

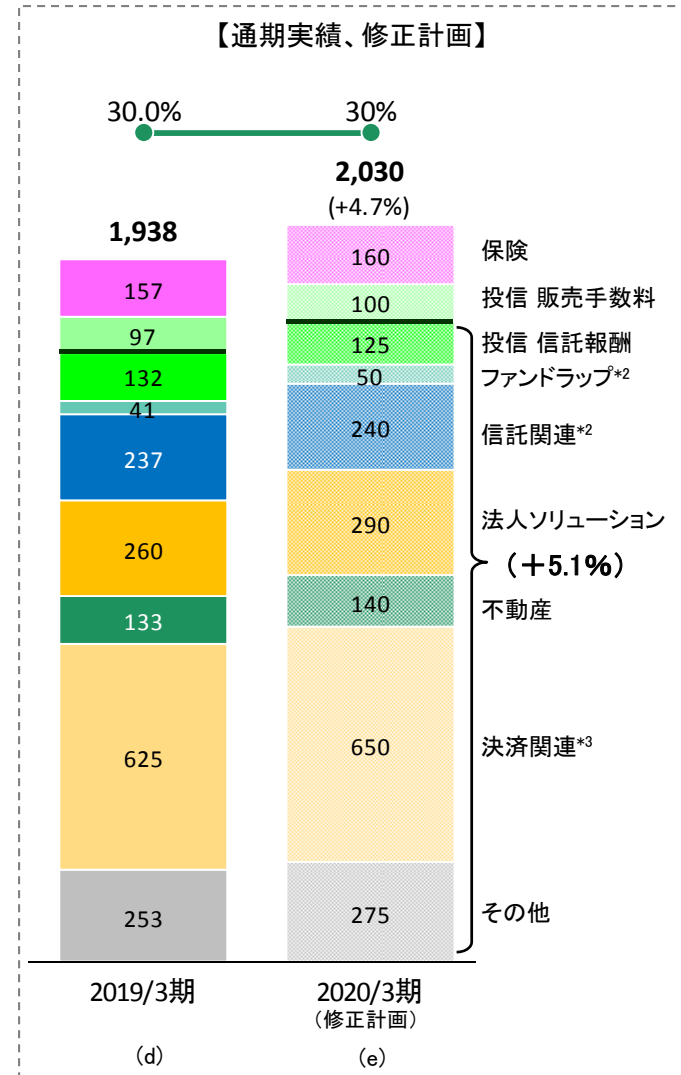
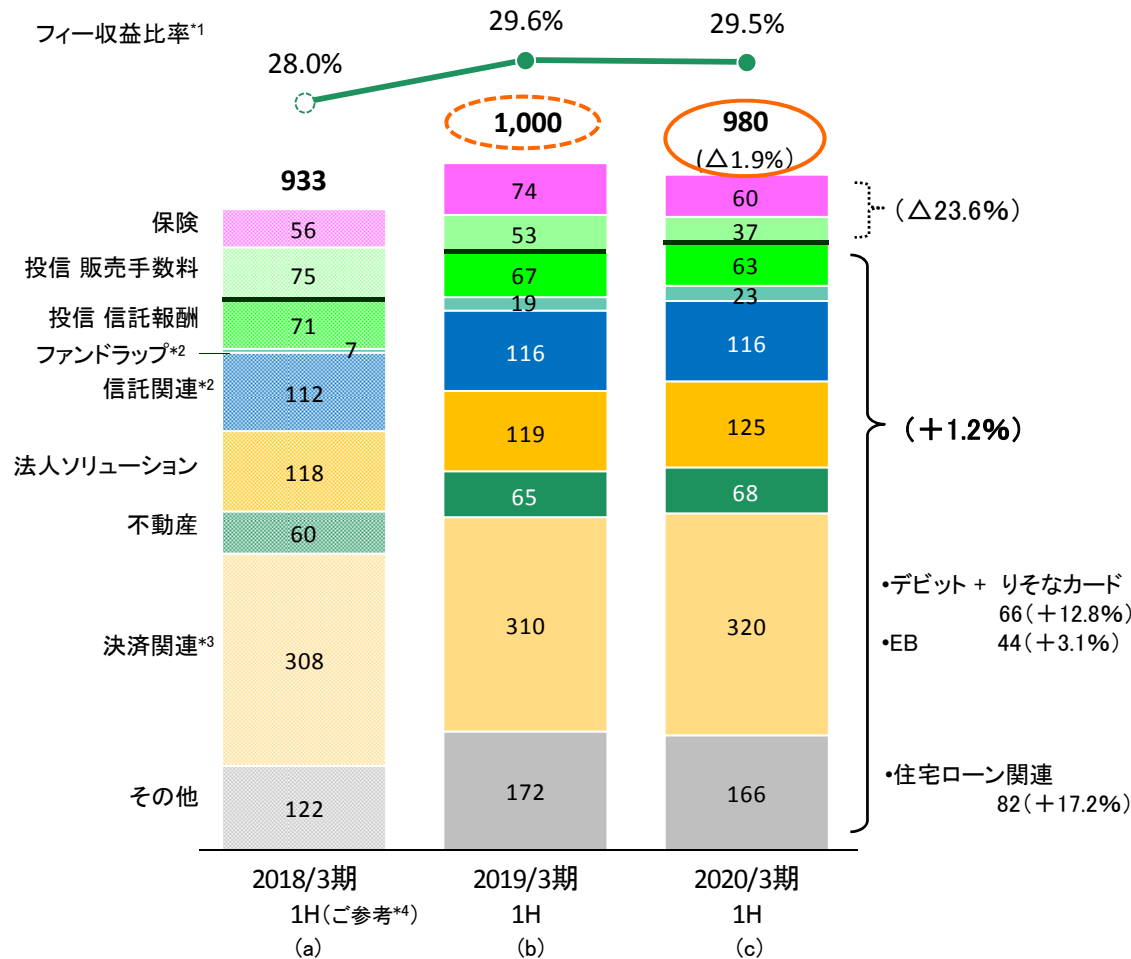


\*1. KMFG統合後計数に補正

# フィー収益

- 2020/3期中間期のフィー収益比率\*1は29.5%
- 保険、投信販売手数料は減速も、ファンドラップ(前同比+20.5%)、法人ソリューション(同+4.9%)、決済関連(同+3.4%)が堅調

億円、()内は  
前同比増減率



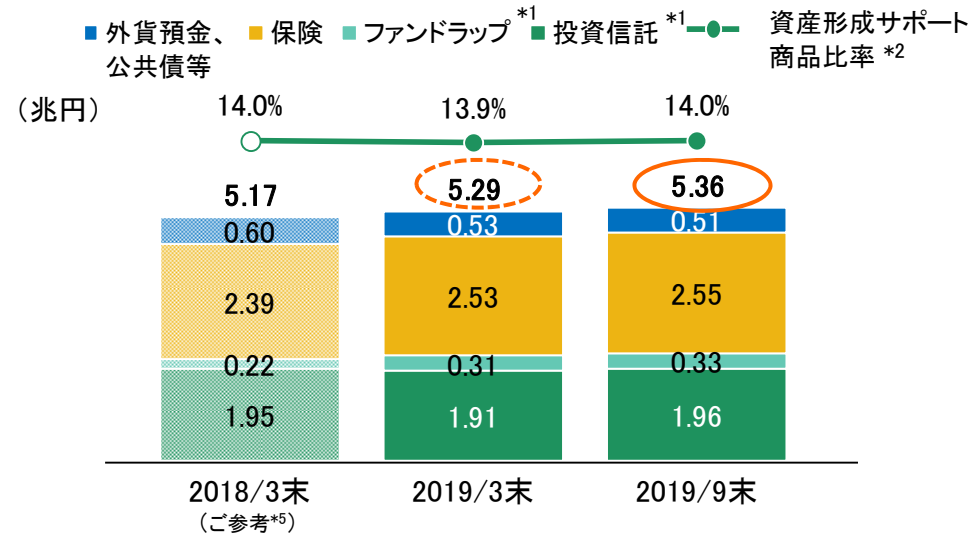
\*1. (役員取引等利益+信託報酬)／業務粗利益    \*2. リそなアセットマネジメントの役員利益を含む  
 \*3. 内為、口振、EB、VISAデビットおよびりそな決済サービス、りそなカードの役員利益    \*4. KMFG統合後計数に補正



# 主要なフィージネス(1) (資産形成サポートビジネス)

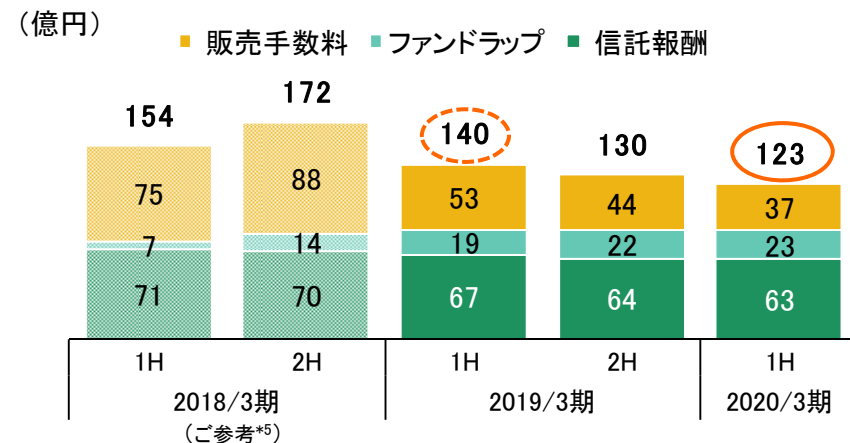
HD連結

## 個人向け資産形成サポート商品残高

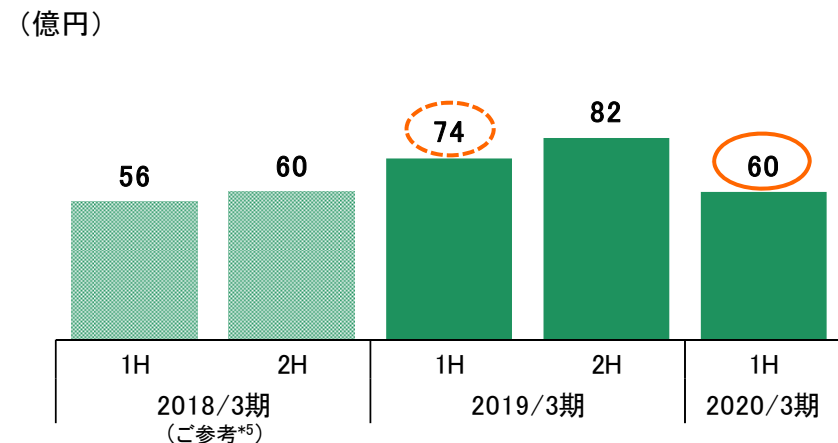


- FW(ファンドラップ)残高\*1: '19/9末 3,370億円 (法人込 3,752億円)
- 投資信託・FWの増減: '20/3期1H 約+751億円
  - うち純流入額(販売-解約・償還): 約+740億円
- 投信・FW、保険利用先数: '19/9末 92万先
  - うちNISA口座数\*3: 35万口座(前同比+11.9%)
- iDeCo加入者数\*4: '19/9末 10.9万先(前同比+23.7%)

## 投資信託・ファンドラップ収益



## 保険収益



\*1. 時価ベース残高 \*2. 個人向け資産形成サポート商品残高/(個人向け資産形成サポート商品残高+個人預金(円貨))  
 \*3. NISA、ジュニアNISA、積立NISA \*4. iDeCo加入者+運用指図者 \*5. KMFG統合後計数に補正

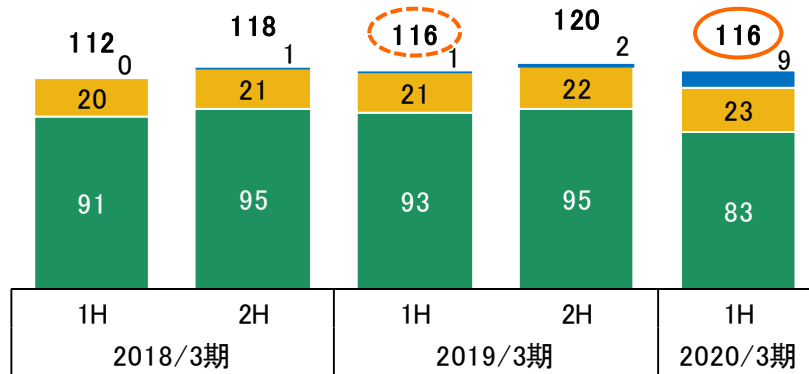
# 主要なフィージネス(2) (信託・法人ソリューション・不動産)

HD連結

## 信託業務関連収益

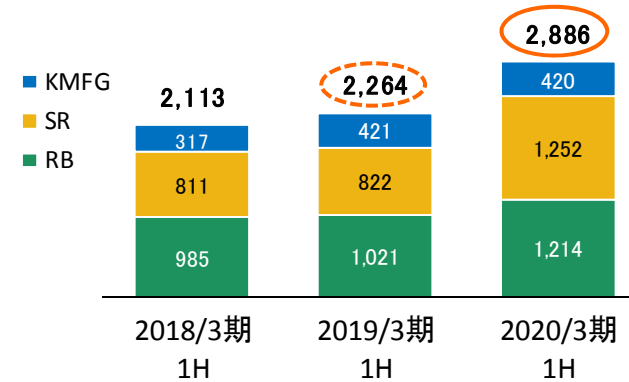
(億円)

■ リソナアセットマネジメント ■ 承継信託 ■ 年金・証券信託



■ 信託機能のグループ展開を通じた収益機会の拡大

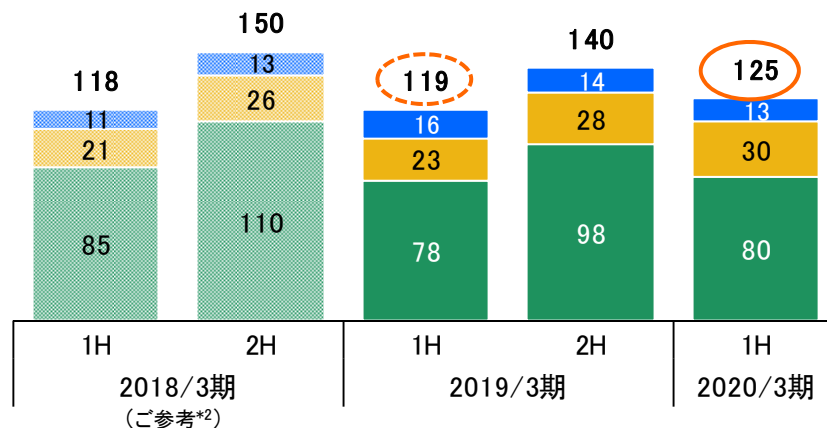
【承継信託 新規利用件数】



## 法人ソリューション収益

(億円)

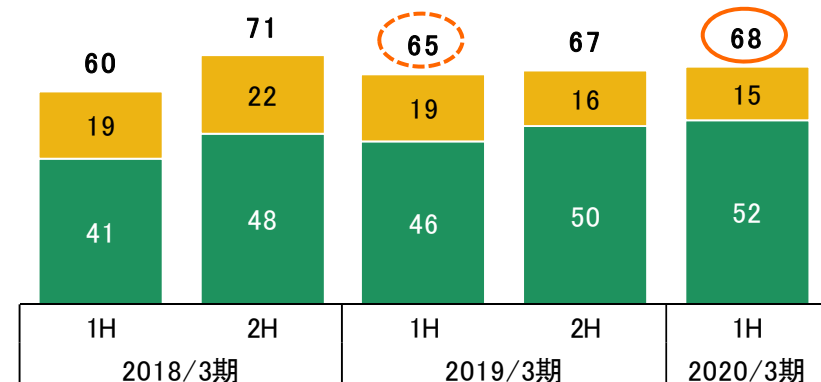
■ M&A ■ 私募債 ■ コミット/シローン/コベナンツ



## 不動産業務収益\*1

(億円)

■ 法人 ■ 個人



\*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

\*2. KMFG統合後計数に補正

# 与信費用、不良債権

## 与信費用

(億円)	2018/3期 (ご参考*1) (a)	2019/3期		2020/3期	
		中間期 (b)	(c)	中間期 (d)	修正計画 (e)
<b>HD連結</b> (1)	101	51	△13	△103	△245
<b>銀行合算</b> (2)	147	52	1	△87	△190
一般貸倒引当金 (3)	90	79	112	△28	
個別貸倒引当金等 (4)	57	△26	△110	△59	
新規発生 (5)	△222	△127	△313	△159	
回収・上方遷移等 (6)	279	100	202	100	
<b>連単差</b> (7)	△46	△1	△14	△16	△55
うち、住宅ローン保証 (8)	0	26	30	△11	
うち、リそなカード (9)	△23	△11	△22	△11	
<b>&lt;与信費用比率&gt;</b> (bps)					
HD連結*2 (10)	2.8	2.8	△0.3	△5.6	△6.6
銀行合算*3 (11)	4.0	2.8	0.0	△4.6	△5.0

\*正の値は戻入を表す

\*1. KMFG統合後計数に補正

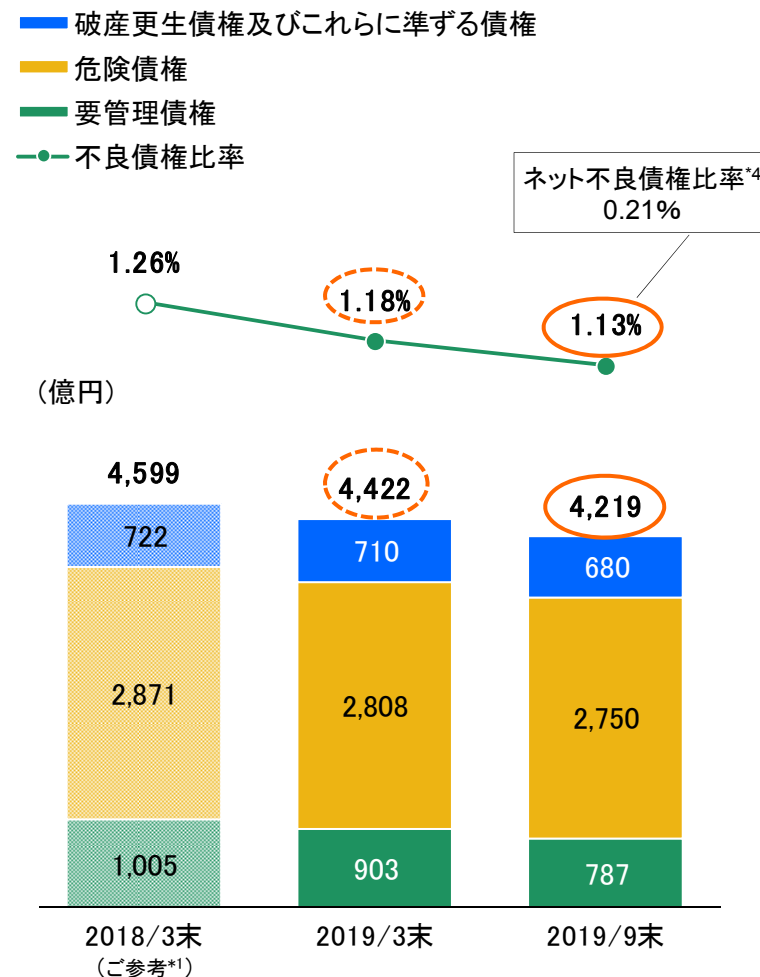
\*2. HD連結与信費用 / (連結貸出金 + 連結支払承諾見返未残) (期首・期末平均)

\*3. 銀行合算与信費用 / 金融再生法基準与信残高 (期首・期末平均)

\*4. 担保/保証・引当金控除後不良債権比率

## 不良債権残高・比率(銀行合算)

(金融再生法基準)



## 有価証券\*1

(億円)		2018/3末 (ご参考*2) (a)	2019/3末 (b)	2019/9末 (c)	評価差額 (d)
その他有価証券 (1)		29,181	25,665	25,304	5,469
株式 (2)		3,654	3,538	3,495	5,214
債券 (3)		15,327	11,882	12,581	69
国債 (4)		3,251	461	1,292	△ 4
(デュレーション) (5)		6.5年	6.7年	11.9年	-
(BPV) (6)		△2.1	△0.3	△1.5	-
地方債・社債 (7)		12,075	11,420	11,289	73
その他 (8)		10,199	10,245	9,227	185
外国債券 (9)		3,892	4,723	4,721	113
(デュレーション) (10)		8.4年	5.3年	4.7年	-
(BPV) (11)		△3.1	△1.8	△1.4	-
国内投資信託 (12)		6,080	5,406	4,400	45
(評価差額) (13)		6,728	5,983	5,469	
満期保有債券 (14)		20,571	21,274	18,773	462
国債 (15)		15,655	15,395	11,944	337
(評価差額) (16)		520	471	462	

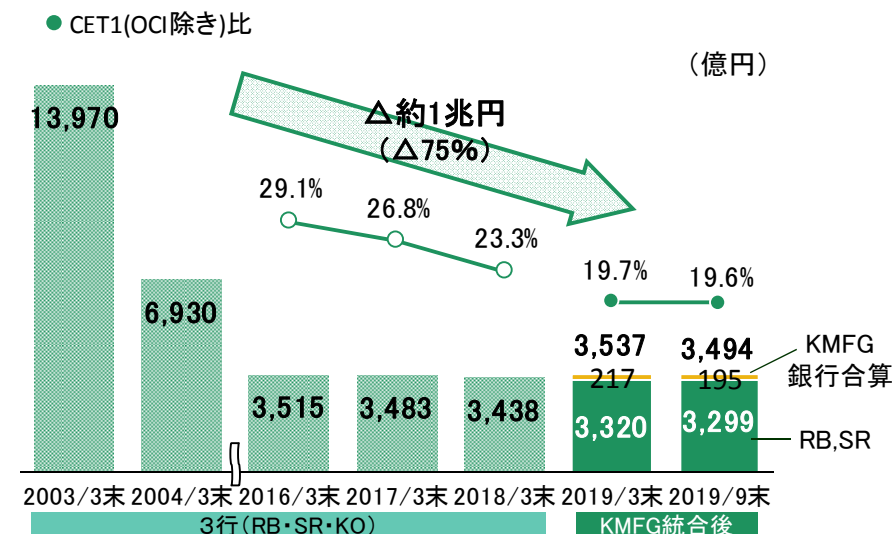
- 3資産の評価差額は改善 (4)+(9)+(12)  
 '18/3末\*2 △212 ⇒ '19/3末 +24 ⇒ '19/9末 +155 (億円)

\*1. 取得原価、時価のある有価証券 \*2. KMFG統合後計数に補正 \*3. OCI除き

## 政策保有株式

- 損益分岐点株価(日経平均ベース): 7,800円程度
- 2019/9期 削減額(上場分・取得原価): 42億円  
 売却益(同): 71億円
- 政策保有株式に関する方針の概要
  - 公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取り組み、価格変動リスクを低減
  - 保有の是非は中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンの検証により判断し、中期的に普通株式等Tier1\*3比「10%台」に削減方針
    - 2017/3期からの5年間で350億円程度の削減を計画

### 【政策保有株式残高】



# 自己資本比率

HD連結

- 2019/9末の自己資本比率(国内基準)は11.20%、普通株式等Tier1比率※(国際統一基準)は10.27%と十分な水準を維持  
※その他有価証券評価差額金除き

## 国内基準

(億円)	2019/3	2019/9	増減
<b>自己資本比率 (1)</b>	<b>10.10%</b>	<b>11.20%</b>	<b>+1.10%</b>
自己資本の額 (2)	19,259	19,466	+ 206
コア資本に係る基礎項目の額 (3)	19,781	20,086	+ 305
うち普通株式に係る株主資本の額 (4)	16,367	16,797	+ 429
うち調整後非支配株主持分の額 (5)	2,362	2,372	+ 9
うち劣後債等 (経過措置による算入) (6)	970	792	△177
コア資本に係る調整項目の額 (7)	521	620	+ 98
リスク・アセット等 (8)	190,620	173,751	△16,869

### ■ 自己資本の額の増減要因

- 株主資本の額 +429億円
  - ・ 親会社株主に帰属する中間純利益 +769億円
  - ・ 期末配当 △243億円
  - ・ 自己株式の取得 △100億円
- 劣後債の資本算入額減少 △177億円

### ■ リスク・アセット等の増減要因

- KMBのIRB移行及びMBの連結IRB移行 △11,356億円
- パラメータ低下等 △2,206億円
- 投資信託の残高減少 △3,125億円

## ■ グループ銀行、銀行持株会社

国内基準 (億円)	りそな (連結)	埼玉りそな (単体)	KMFG (連結)
<b>自己資本比率</b>	<b>11.02%</b>	<b>13.67%</b>	<b>8.26%</b>
自己資本の額	11,116	3,536	4,592
リスク・アセット等	100,815	25,864	55,536

## (参考)国際統一基準

(億円)	2019/3	2019/9	増減
その他有価証券評価差額金除き (9)	<b>9.30%</b>	<b>10.27%</b>	<b>+0.97%</b>
<b>普通株式等Tier1比率 (10)</b>	<b>11.47%</b>	<b>12.48%</b>	<b>+1.01%</b>
<b>Tier1比率 (11)</b>	<b>11.54%</b>	<b>12.71%</b>	<b>+1.17%</b>
<b>総自己資本比率 (12)</b>	<b>12.21%</b>	<b>13.46%</b>	<b>+1.25%</b>
普通株式等Tier1資本の額 (13)	22,392	21,919	△473
基礎項目 (14)	23,093	22,703	△390
うち普通株式に係る株主資本の額 (15)	16,367	16,797	+ 429
うちその他有価証券評価差額金 (16)	4,239	3,883	△356
うち調整後非支配株主持分の額 (17)	2,227	1,782	△445
調整項目の額 (18)	701	784	+ 83
その他Tier1資本の額 (19)	118	410	+ 291
Tier1資本の額 (20)	22,511	22,330	△181
Tier2資本の額 (21)	1,306	1,310	+ 4
総自己資本の額(Tier1+Tier2) (22)	23,817	23,640	△177
リスク・アセット等 (23)	195,066	175,562	△19,504

### (参考)

- KMB・MBは2019年6月末よりF-IRB適用

### ■ バーゼル3最終化の影響

(その他有価証券評価差額金除き)普通株式等Tier1比率 9.0%程度※

※ 2019/9末実績値(9)に対し、バーゼル3最終化(SA・資本フロア見直し等・完全実施基準)によるリスク・アセット増加のみを反映した試算値

# 2020年3月期 業績目標 (2019年11月公表)

HD連結・銀行合算

## HD連結

(億円)	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益 (1)	769	1,600	-	※△151
KMFG *1 (2)	40	65		
その他連単差 (3)	84	160		

※2019/3期のKMFG統合関連一時利益(398億円)を除くベースでは前期比+247億円の増益目標

## 1株当たり普通配当

	1株当たり配当金	前期比
普通配当(年間予想) (4)	21.0円	-
うち中間配当 (5)	10.5円	-

## 銀行合算/各社単体

(億円)	銀行合算				りそな銀行				埼玉りそな銀行				KMFG 銀行合算			
	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比	中間期実績	通期目標	期初目標比	前期比
業務粗利益 (6)	3,043	6,110	△50	+180	1,771	3,525	-	+126	603	1,180	△20	+45	668	1,405	△25	+10
経費 (7)	△1,967	△3,990	+25	△14	△1,044	△2,095	-	+17	△369	△745	-	△2	△552	△1,150	+25	△30
実質業務純益 (8)	1,075	2,120	△25	+167	726	1,430	-	+144	233	435	△20	+43	115	255	-	△20
株式等関係損益(先物込) (9)	77	315	+45	+195	9	215	+30	+110	20	40	-	+62	46	60	+15	+23
与信費用 (10)	△87	△190	△20	△191	△72	△115	△30	△166	△21	△40	△10	△32	6	△35	+20	+6
税引前当期(中間)純利益 (11)	1,022	2,085	△10	+324	678	1,530	+20	+251	220	395	△35	+73	123	155	-	△4
当期(中間)純利益 *2 (12)	734	1,485	△5	+227	489	1,100	+20	+193	155	275	△25	+55	90	110	-	△20

\*1. HDの出資比率(51%)を勘案後

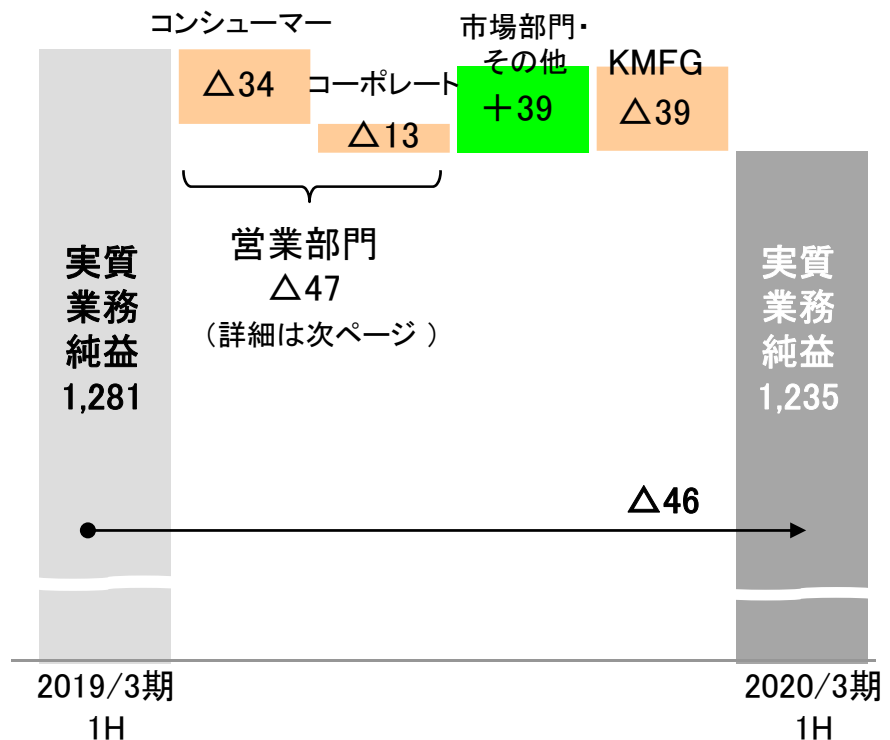
\*2. 当期(中間)純利益は非支配株主に帰属する当期(中間)純利益が控除されていません。

# (ご参考)事業部門別の損益概要

HD連結

(億円)		2020/3期 中間期	前同比
営業部門	業務粗利益 (1)	2,330	△46
	経費 (2)	△1,489	△0
	実質業務純益 (3)	841	△47
コンシューマー	業務粗利益 (4)	1,037	△39
	経費 (5)	△764	+4
	実質業務純益 (6)	272	△34
コーポレート	業務粗利益 (7)	1,292	△7
	経費 (8)	△724	△5
	実質業務純益 (9)	568	△13
市場部門・その他	業務粗利益 (10)	270	+38
	経費 (11)	△20	+17
	実質業務純益 (12)	251	+39
KMFG	業務粗利益 (13)	713	△51
	経費 (14)	△571	+12
	実質業務純益 (15)	141	△39
合計	業務粗利益 (16)	3,314	△60
	経費 (17)	△2,082	+29
	実質業務純益 (18)	1,235	△46

(億円)



## 管理会計における 計数の定義

1. 「営業部門」、「市場部門・その他」はKMFG連結子会社を除くHD連結子会社の計数
2. 「市場部門」の業務粗利益には株式等関係損益の一部を、「その他」には経営管理部門の計数等を含む

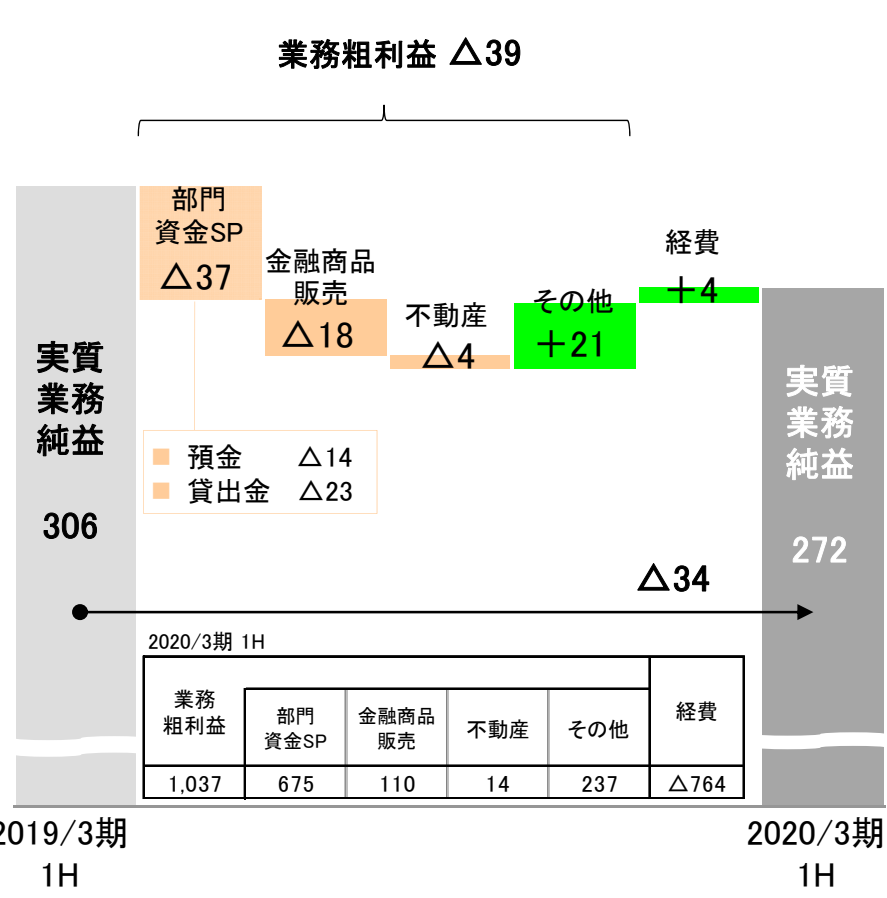
# (ご参考) 営業部門の損益概要

HD連結 (KMFG連結除)

## コンシューマー部門

- 実質業務純益は前同比34億円の減益

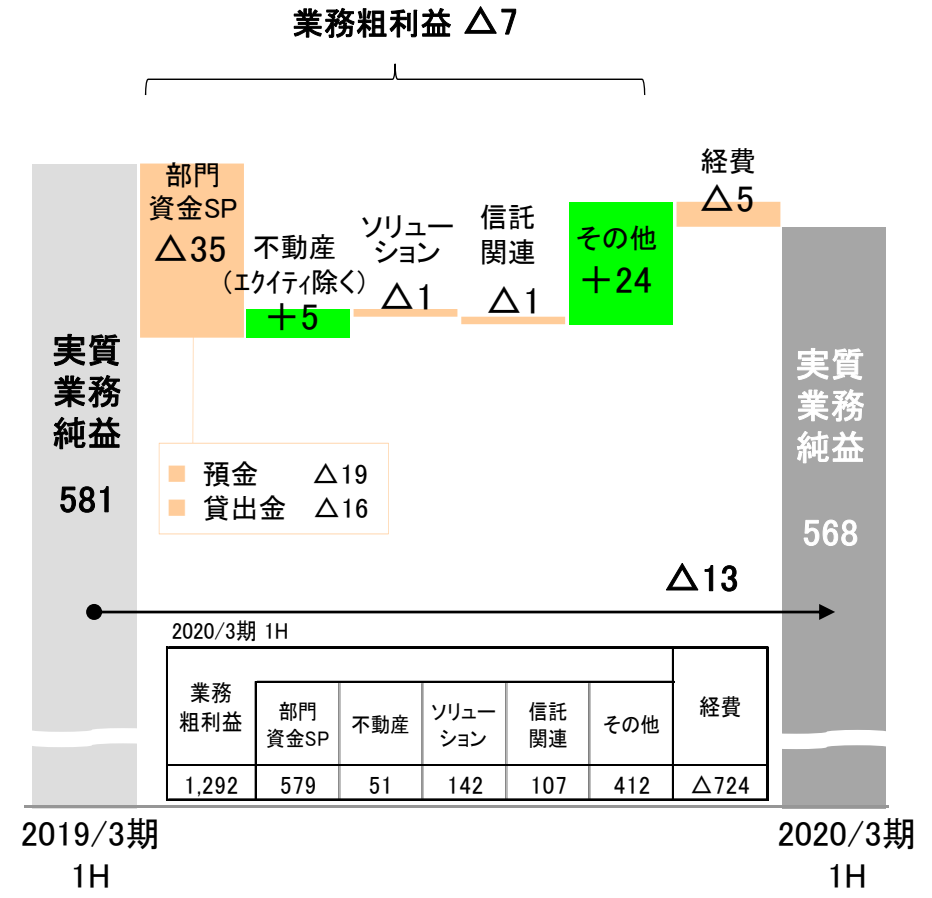
(億円)



## コーポレート部門

- 実質業務純益は前同比13億円の減益

(億円)





- 
- 本資料における表記の定義は下記の通りです。

[HD] リそなホールディングス、[RB] リそな銀行、[SR] 埼玉りそな銀行、  
[KMFG] 関西みらいフィナンシャルグループ、[KMB] 関西みらい銀行※、[MB] みなと銀行  
※[KU] 関西アーバン銀行と[KO] 近畿大阪銀行が2019年4月1日に合併

---

計数には社内管理計数を含みます。

本資料中の、将来に関する記述(将来情報)は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府や中央銀行の方針、法令、実務慣行および解釈に係る展開および変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。